



# MS612-0K001 ハードトノカバー

取付・取扱要領書

この度はTRDハードトノカバーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。  
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。  
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。  
なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

## ■ 品番・適合車種

品番	適合	型式	年式	備考
MS612-0K001	ハイラックス	GUN125	'17.09～	

※トヨタ純正オプション《ベツライナー》との同時装着の場合、ベツライナーのカット加工が必要となります。本書の要領をご確認のうえ作業を行なってください。

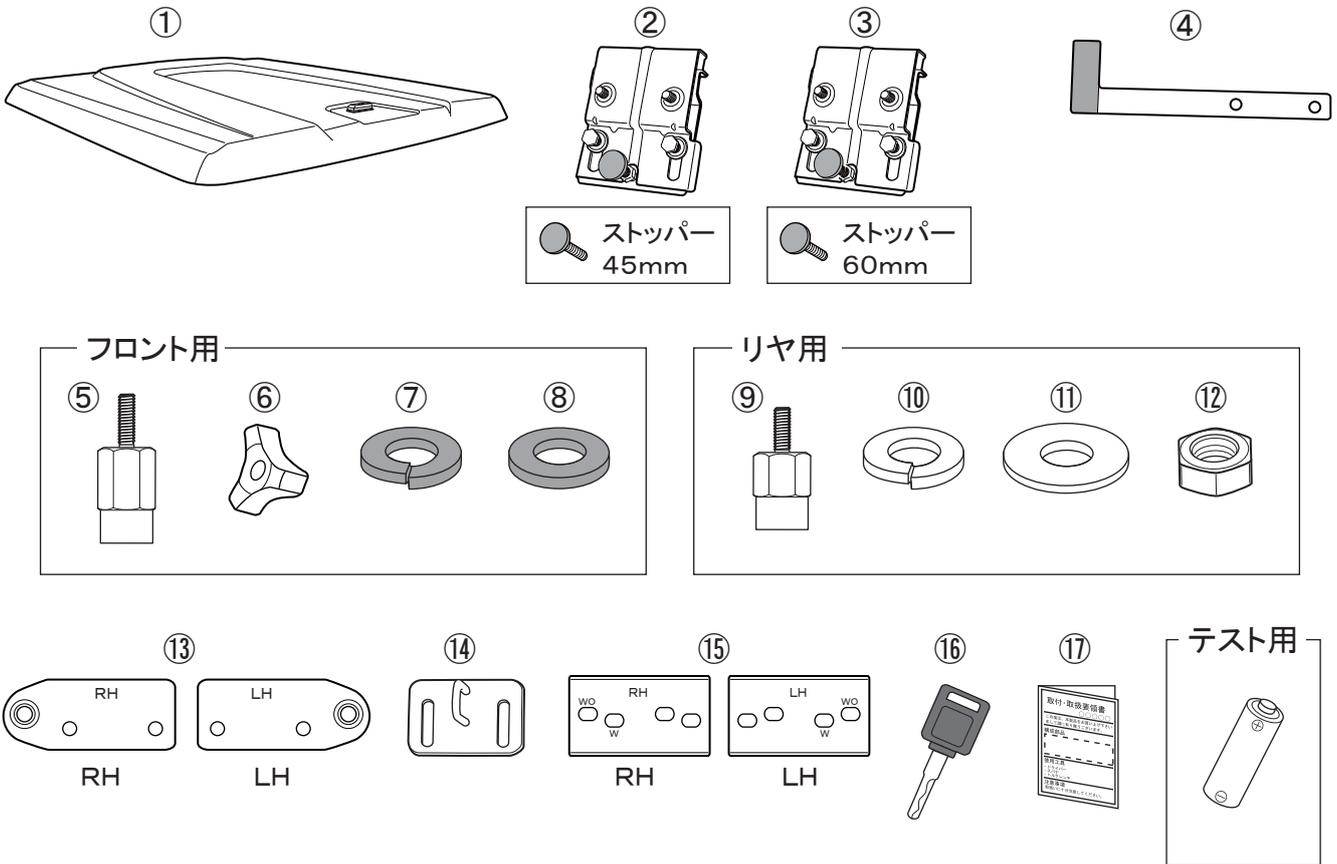
・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

No.	品名	個数	備考
①	トノカバー	1	
②	クランプ FR	2	ストッパー : 45mm
③	クランプ RR	2	ストッパー : 60mm
④	クランプガイド	2	
⑤	エクステンションボルト(長)	4	
⑥	ハンドルナット	4	
⑦	スプリングワッシャー(黒)	4	
⑧	平ワッシャー(黒)	4	
⑨	エクステンションボルト(短)	4	
⑩	スプリングワッシャー	4	
⑪	平ワッシャー	4	
⑫	ナット	4	M8
⑬	ダンパーベース R/L	各1	
⑭	ストライカー	2	
⑮	ホルダー R/L	各1	
⑯	キー	3	
⑰	取付・取扱説明書	1	
	単三電池	4	テスト用

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図





## ■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 . . . . . 1～2
2. 取付け・取扱いご注意（作業者様へ） . . . . . 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 . . . . . 4
4. 取付け要項 . . . . . 5～12
5. 取付け完了後の点検、注意事項 . . . . . 12

## ■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・トルクレンチ・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・保護メガネ
- ・ドリル（刃：3.0mm/5.0mm）・ホールソー（25mm/50mm）
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ

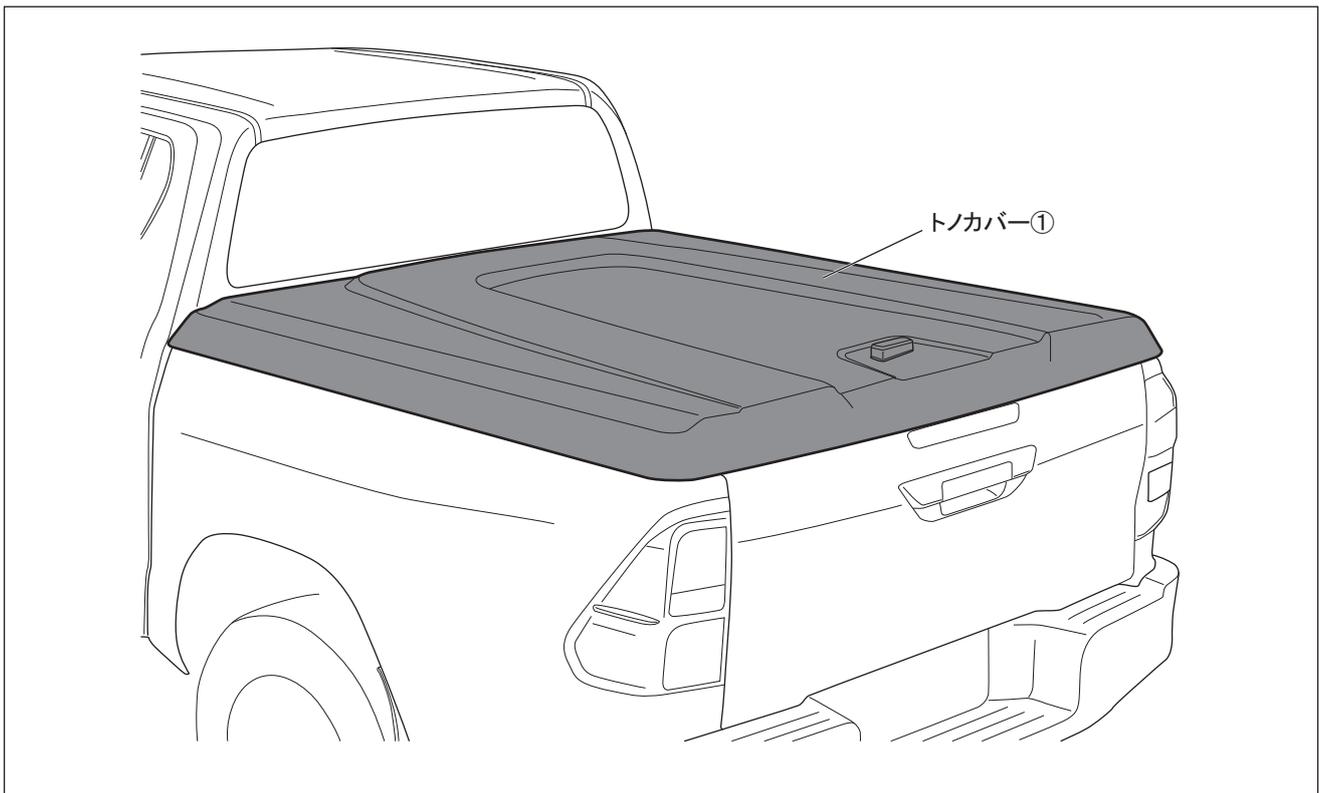
## ■ 本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

## ■ 取付構成図

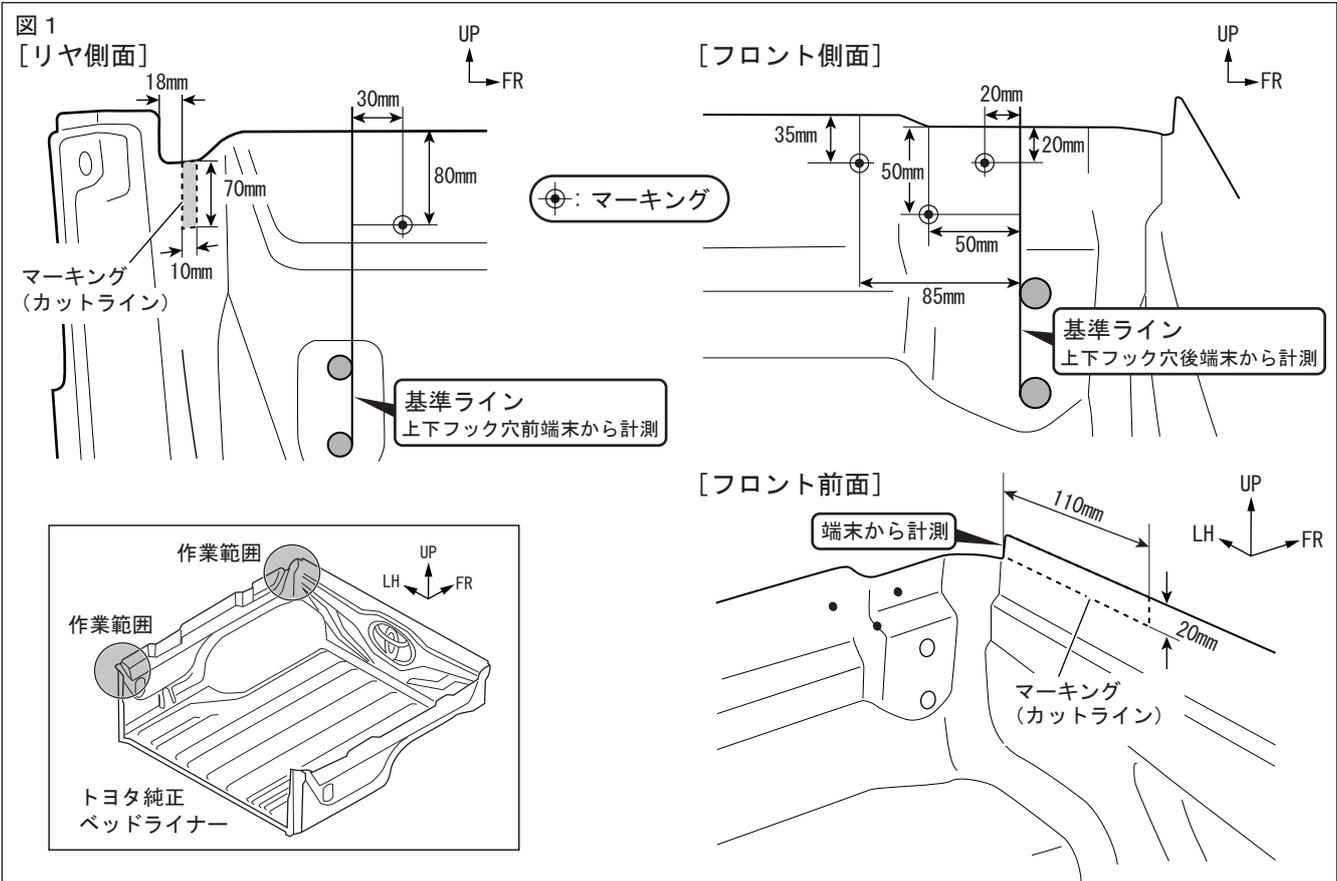


**【ベッドライナー未装着の場合は、6ページに進み作業を行なってください。】**

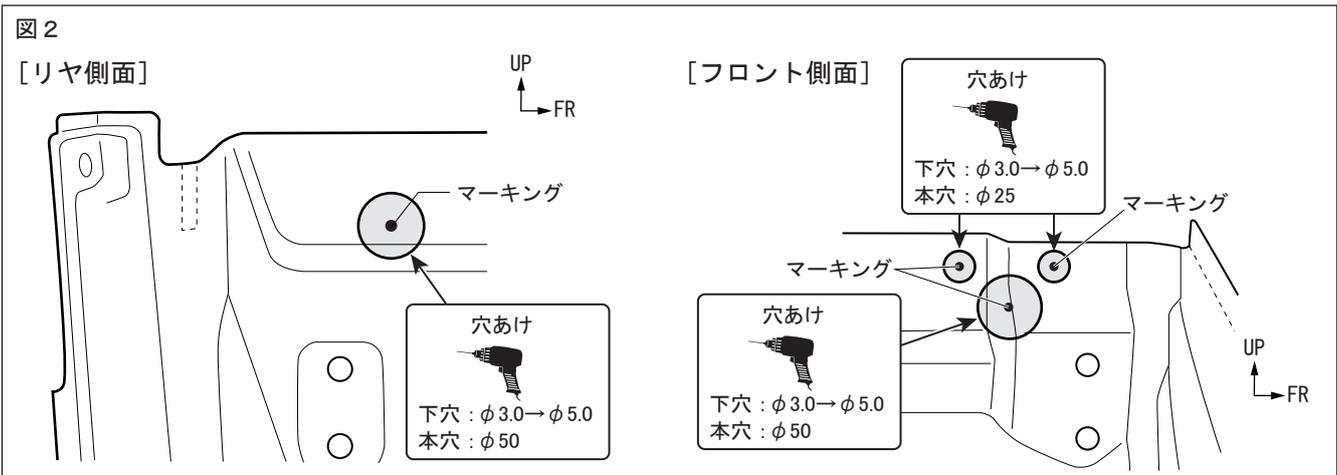
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

**□ベッドライナーの加工作業**

1. 車両からベッドライナーを取り外す。
2. 図1のようにベッドライナーを図示寸法で計測し、穴あけ位置および切除範囲をマーキングする。



3. 図2のようにベッドライナー側面の穴あけマーキング合わせて下穴をφ3.0→φ5.0の順であけ、φ25（フロント側）、φ50（フロント側、リア側）の本穴をあける。（φ25 左右各2箇所、φ50 左右各2箇所）



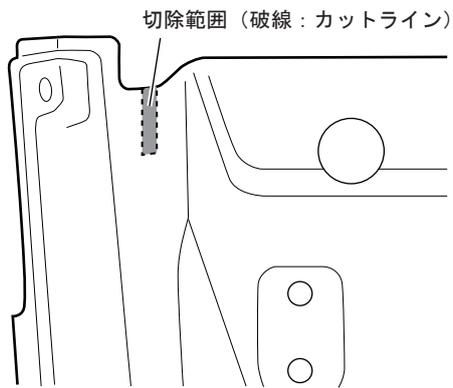
🔧 **アドバイス**：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

🔧 **アドバイス**：クランプ②③取り付け時にストッパーや固定ボルトが干渉する場合は穴を適宜拡大してください。

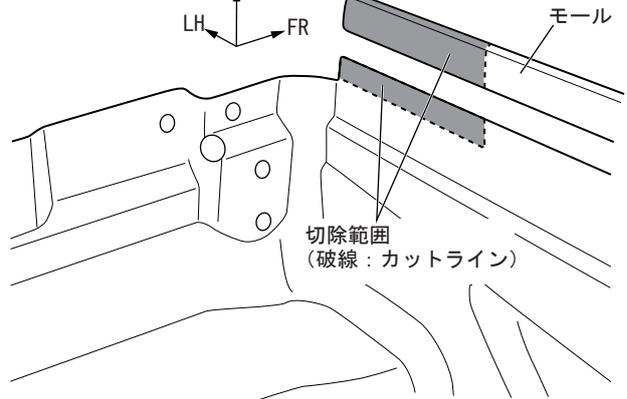
⚠️ **注意**：作業時は保護メガネを着用してください。

4. 穴周囲のバリを除去する。
5. 図3のようにベッドライナーリヤ側面およびフロント前面のカットラインに合わせて切除加工する。
6. 図3のようにベッドライナーフロント前面の切除範囲に合わせてモールを切除加工する。

図3 [リヤ側面]



[フロント前面]



🗣️ **アドバイス:** 切除加工時、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ **注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。

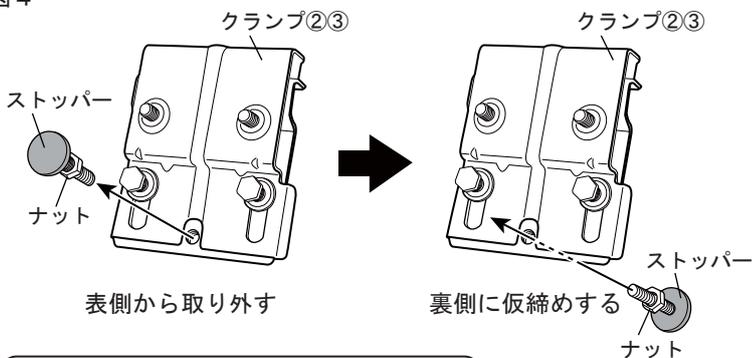
7. 切除加工部のバリを除去する。
8. ベッドライナー付属の取付・取扱説明書を参照し、ベッドライナーを車両に取り付ける。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

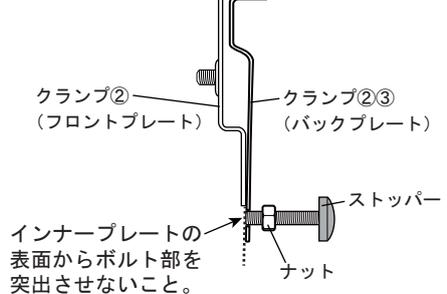
### □ハードノカバーの取付準備

1. 図4のようにクランプFR②、クランプRR③のストッパーおよびナットを取り外し、裏側に仮締めする。(各2組)

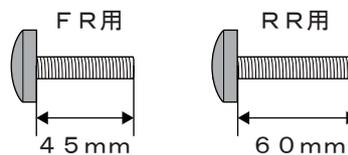
図4



[側面視]



「ストッパー寸法」



ストッパーの長さでFR用/RR用を識別する  
※首下寸法

🗣️ **アドバイス:** ストッパーFR/RRを間違えて取り付けてしまうとクランプが正位置に固定できなくなります。クランプ取り付け作業時に必ずストッパーの長さを確認してください。

2. 図5のようにクランプ FR②を車両荷台内側に図示寸法で計測して仮固定し、クランプ FR②のフロントプレート、バックプレートを調整して固定ボルトを締め込み固定する。クランプ FR②を固定後、ストッパーを荷室側面に突き当ててナットを締め込みロックする。(左右各1箇所)

締付トルク : 15N・m

図5

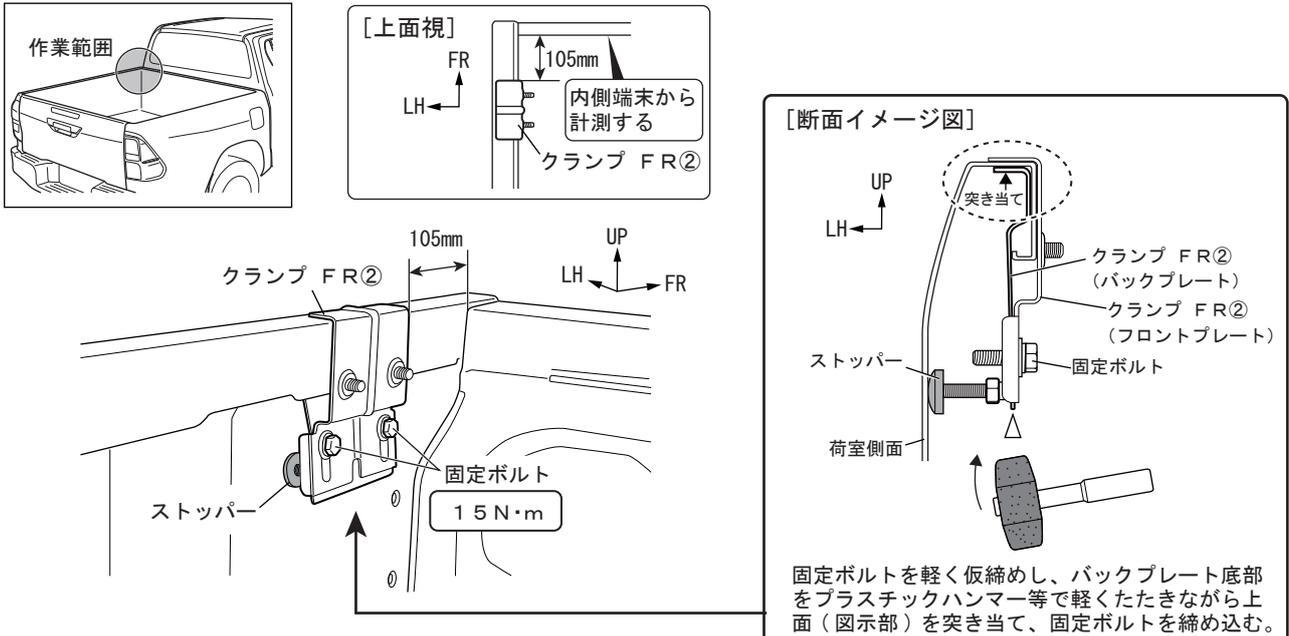
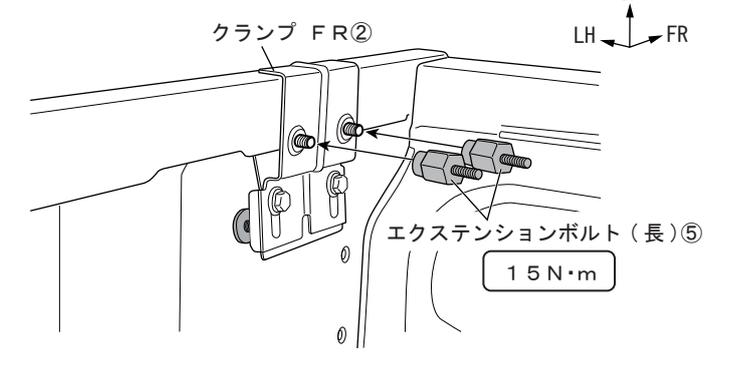


図6

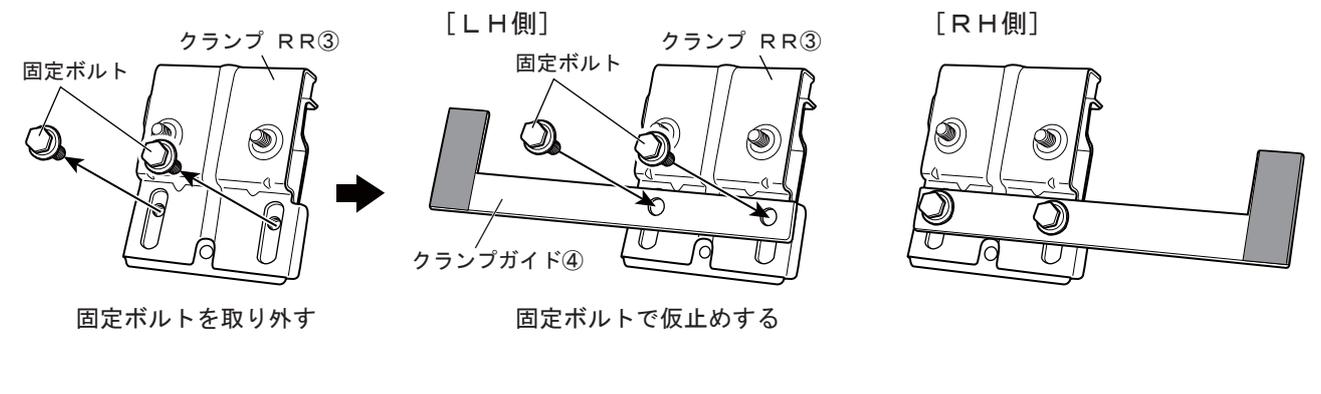


3. 図6のようにクランプ FR②にエクステンションボルト(長)⑤を取り付ける。(左右各2箇所)

締付トルク : 15N・m

4. 図7のようにクランプ RR③の固定ボルトを取り外し、クランプガイド④をクランプ RR③に固定ボルトで仮止めする。(左右各1組)

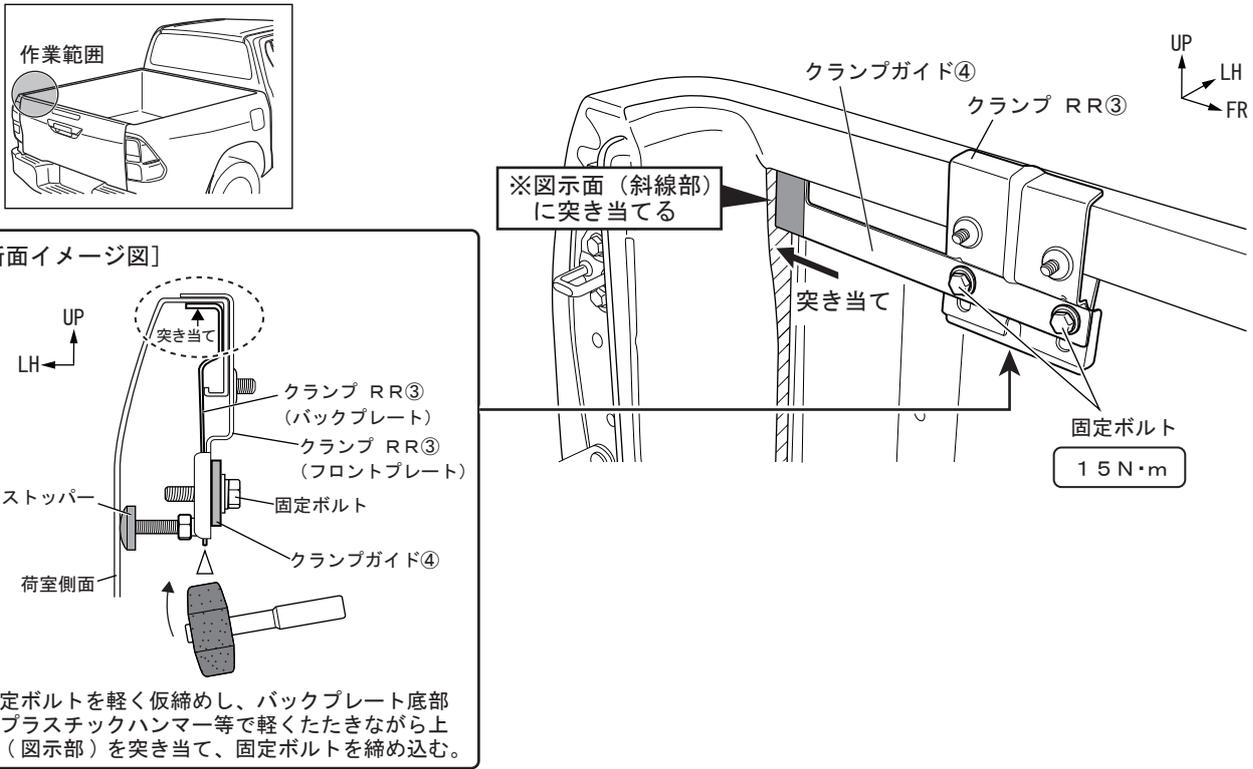
図7



5. 図8のようにクランプ RR③を車両荷台内側にクランプガイド④を後方へ突き当てながら位置決めし、クランプ RR③のフロントプレート、バックプレートを調整して固定ボルトを締め込み固定する。クランプ RR③を固定後、ストッパーを荷室側面に突き当ててナットを締め込みロックする。(左右各1箇所)

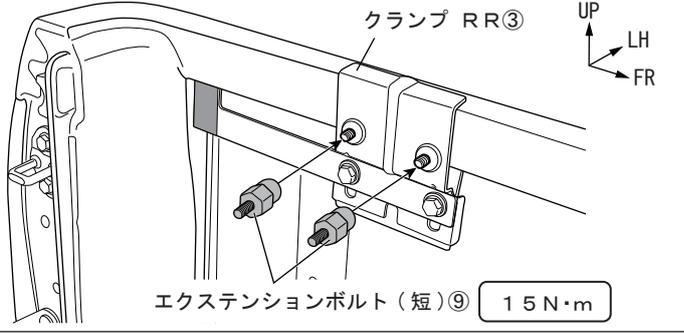
締付トルク : 15N・m

図8



△注意:クランプガイド④は必ず図示面(斜線部)に突き当ててください。突き当て面がずれた場合、クランプRR③の固定が不完全となり、トノカバー①のガタつき等が発生するおそれがあります。

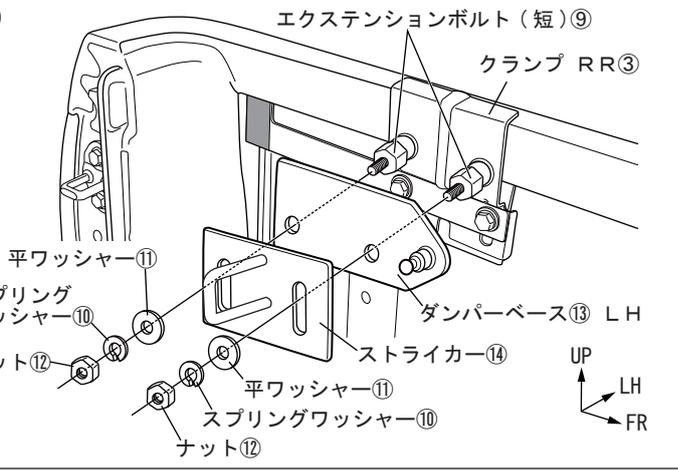
図9



6. 図9のようにクランプ RR③にエクステンションボルト(短)⑨を取り付ける。(左右各2箇所)

締付トルク : 15N・m

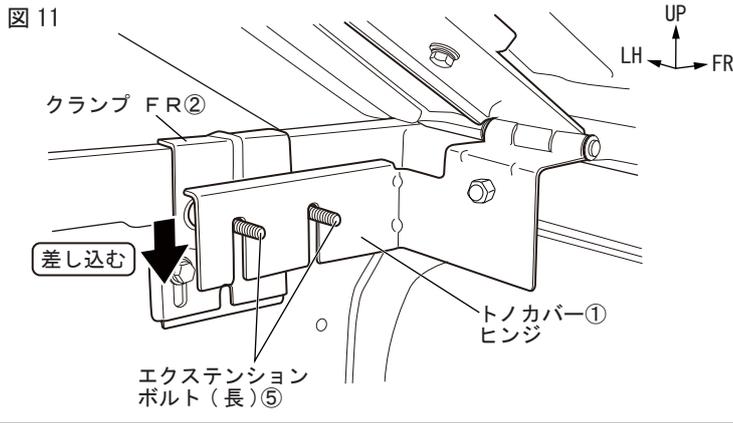
図10



7. 図10のようにクランプ RR③に取り付けたエクステンションボルト(短)⑨にダンパーベース⑬、ストライカー⑭の順で差し込み、平ワッシャー⑪、スプリングワッシャー⑩、ナット⑫で仮締めして取り付ける。(左右各2箇所)

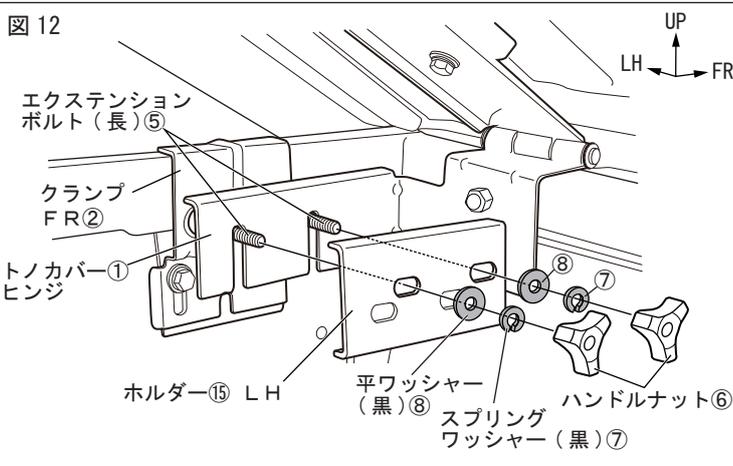
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

### □ハードトノカバーの取付要領



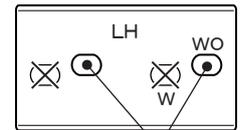
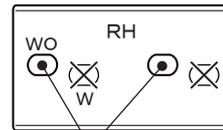
1. トノカバー①のダンパー部およびヒンジ部の結束バンドを切り取る。
2. 図 11 のようにトノカバー①を車両荷台に載せヒンジ部をクランプ FR②に取り付けたエクステンションボルト(長)⑤に差し込む。(左右各 1 箇所)

△注意: トノカバー①を載せる際は、3人以上で行ってください。



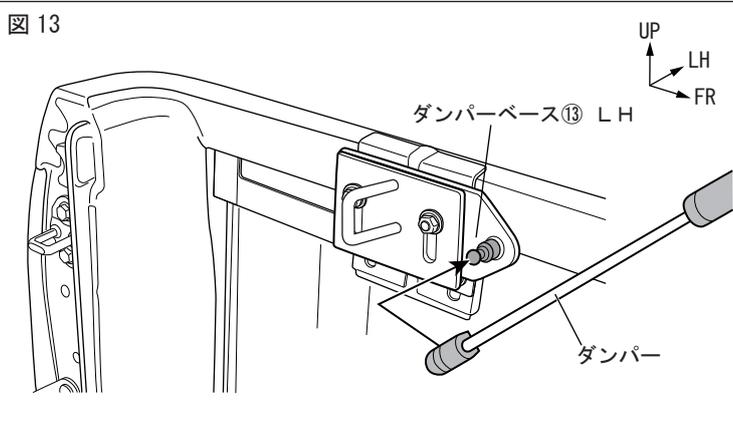
3. 図 12 のようにトノカバー①のヒンジ部にホルダー⑮を被せ、平ワッシャー(黒)⑧、スプリングワッシャー(黒)⑦、ハンドルナット⑥で仮止めする。

△注意: ホルダー⑮の穴位置は下図位置2箇所(WO)を使用します。取り付け時に穴位置を間違いないように注意してください。

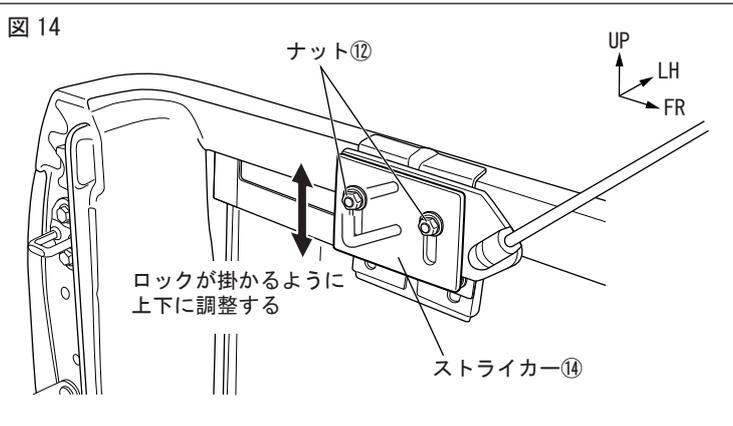


取り付け穴

取り付け穴

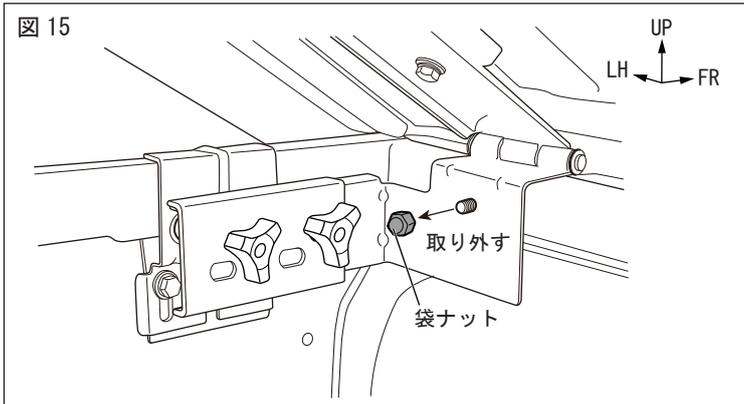


4. 図 13 のようにトノカバー①のダンパーをダンパーベース⑬に取り付ける。



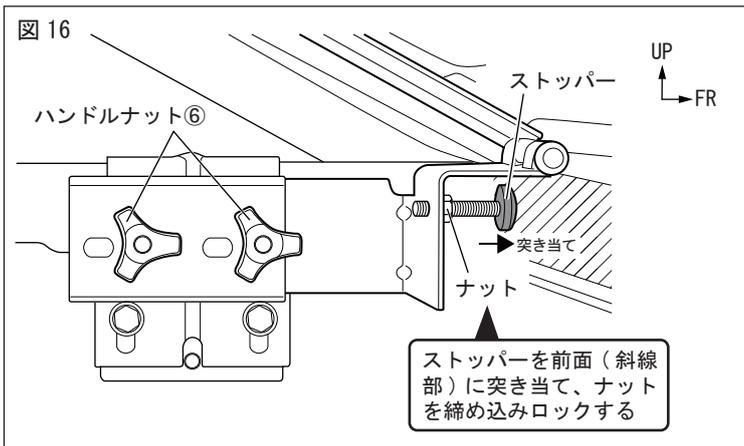
5. 図 14 のようにストライカー⑭の取り付け位置を調整して車両荷台とトノカバー①の周囲の隙間およびロックが正常に掛かる事を確認する。調整後、ナット⑫を仮固定する。

図 15



6. 図 15 のようにトノカバー①のヒンジ部表側の袋ナットを取り外す。(左右各1箇所)

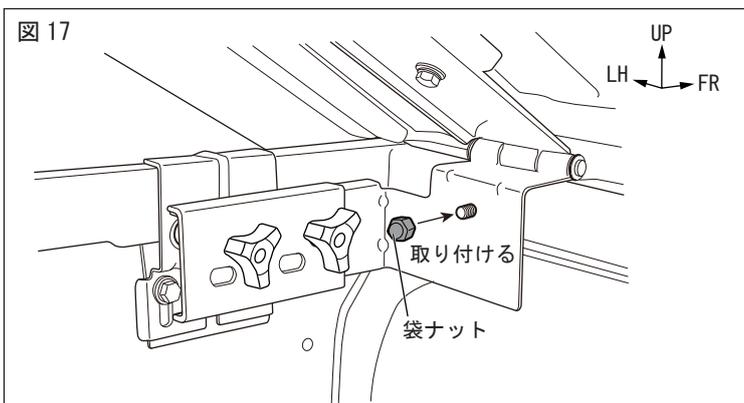
図 16



7. 図 16 のようにトノカバー①のヒンジ部取り付け位置を調整しながらハンドルナット⑥を本締めする。

8. 図 16 のようにヒンジ部裏側のストッパーを車両荷台前面(斜線部)に突き当ててナットを締め込みロックする。(左右各1箇所)

図 17

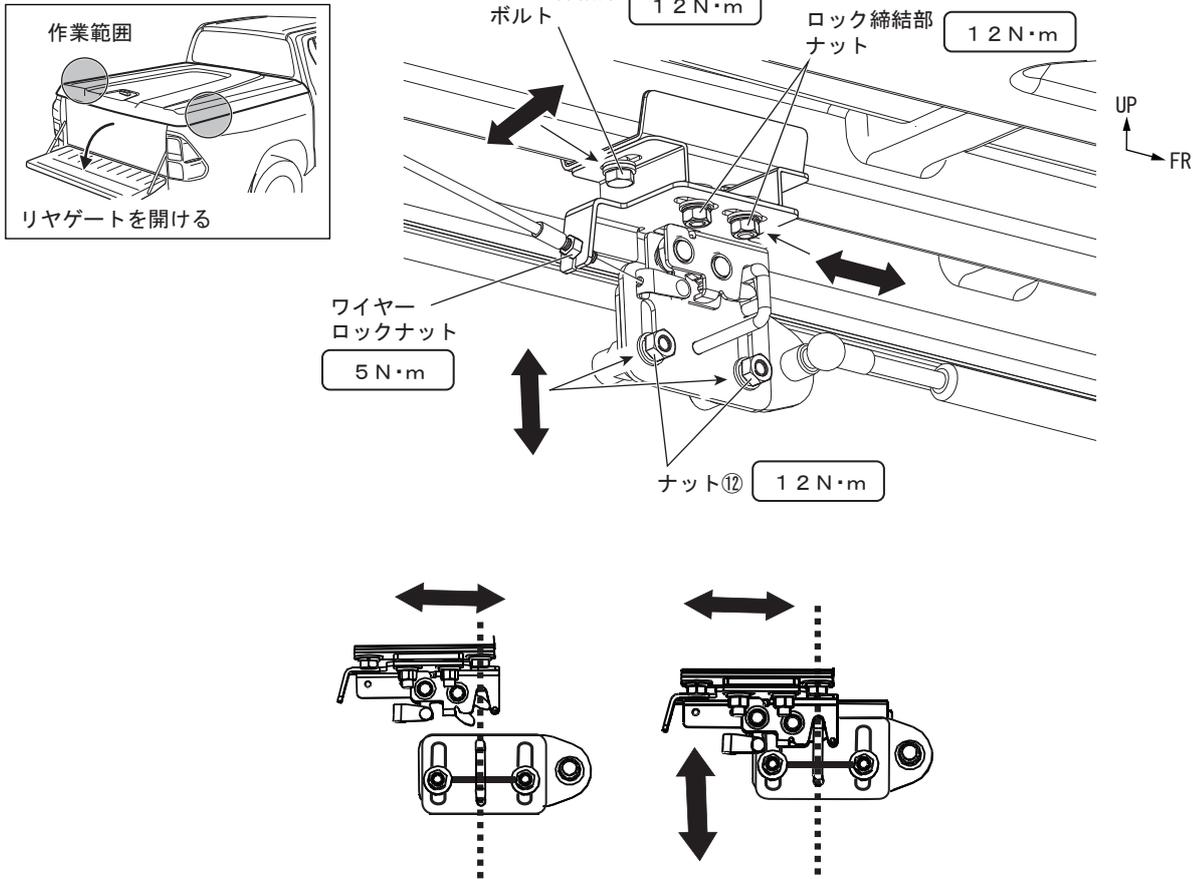


9. 図 17 のようにトノカバー①のヒンジ部表側に 10 ページ作業 6. で外した袋ナットを取り付ける。(左右各1箇所)

⚠注意: 袋ナットを取り付ける際は、軽くトルクが掛かる程度(手でギュッと締める)にしてください。締め過ぎてしまうとナットの袋部分が破損するおそれがあります。

10. 図 18 のようにリヤゲートを開けた状態でトノカバー①を静かに閉めてロックとストライカーの調整を行う。トノカバー①のロック締結部（ボルト、 ナット）とクランプ RR③のナット⑫緩め、 確実にロックが掛かるように調整し、 ガタつきが無いことを確認して固定する。（左右各1箇所）

図 18



前後・上下に調整し、確実にロックが掛かること、ガタつきが無いことを確認する。

11. 各部調整後、リヤゲートを閉めた状態でハードトノカバーの開閉要領（次項）を参照し、再度開閉の調整を行う。

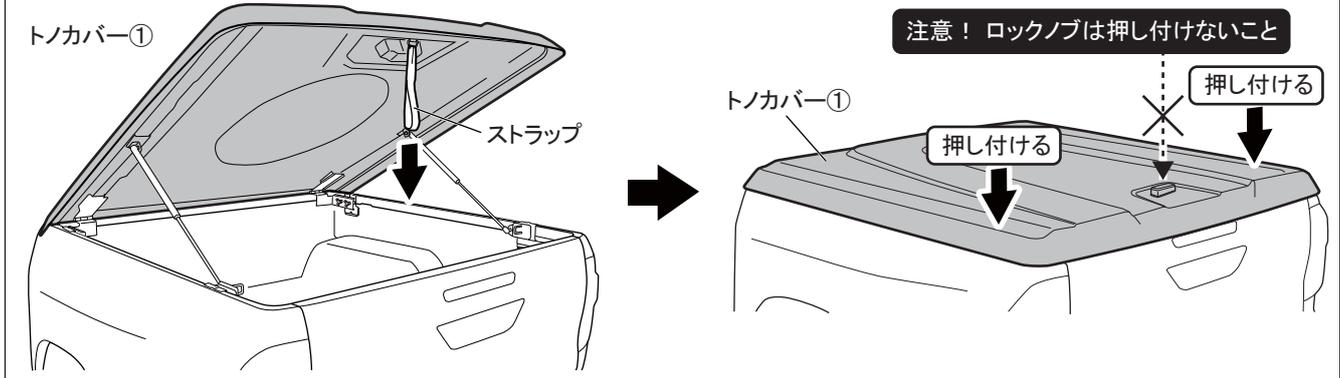
### ハードトノカバー締付けトルク一覧表

締付け部位	部品 No.	締付けトルク	本数
クランプ②③	固定ボルト	15N・m	8
クランプ②③	エクステンションボルト⑤⑨	15N・m	8
クランプ②③	ナット⑫	12N・m	4
トノカバー① ロック締結部	ボルト	12N・m	4
トノカバー① ロック締結部	ナット	12N・m	4
トノカバー① ロック締結部	ワイヤーロックナット	5N・m	2

## □ハードトノカバーの開閉要領

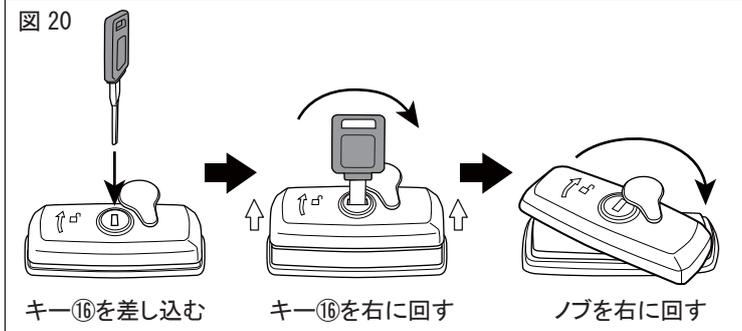
1. 図 19 のようにトノカバー①後部内側のストラップを真下に引きながら閉め、ストラップを荷台内部に収めてからトノカバー①の左右ロック部（ストライカー上部）を押し付けるように閉める。

図 19



- △注意：トノカバー①を閉めるときは、必ずリヤゲートを閉めてください。また、キー⑩を荷台に残しままトノカバー①をロックしてしまうと開錠が出来なくなるため、必ず荷台を確認してください。また、強い勢いで閉めるとロック部、ヒンジ部が破損する恐れがある為、注意してください。

図 20



2. 図 20 のようにトノカバー①のロックノブにキー⑩を差し込み、ロックノブを回してトノカバー①を開ける。

- △注意：走行前に必ずハードトノカバーの取り付け状態を確認してください。

- △注意：トノカバー①裏側のランプは、単三電池を使用してください。ランプは、開閉連動ではないため、ハードトノカバーを閉める際は、スイッチを切り消灯してください。

### ■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き等が無いことを確認する。
2. 車両及びハードトノカバー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
4. 装着後は、定期的(定期点検時など)に締付けトルク一覧表を参照し、各部の締付け点検を行う。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント  
TRD商品問い合わせ窓口  
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地  
TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122  
<http://www.trdparts.jp/>